



さて、二つの話題に記載されていることは、すべて子ども達が生活や遊びを通し感じたり、できるようになったり、興味を持ったこと、保育教諭に教えられたことではありません。保育教諭の役割は、一人で座るとき、後ろに倒れないように手を添えたり、つかまり立ちの時、安全に配慮したりしたことです。

このように、年齢が進むにつれ教える場面も増えますが、幼児教育で最も大切にしていることは、単に教えるのではなく、こども園での子ども同士や保育教諭との触れ合い、集団での生活や遊び、そして、経験や体験をする中で色々なものに触れ、見たり、聞いたりすることを通し、多くの知識や技能、そして社会規範などを身に付けることと言えます。これが、小学校以降の教育でも大切にされている、アクティブラーニングと言われるものです。



認定こども園の教育・保育要領では、「教育と保育を一体的に提供する。」と記述されています。保育とは、子ども達の生命や情緒を育てる分野であり、教育推進の基盤になるものとの考えからこのような表現になっています。

3歳以上の教育及び保育は、5領域により進められ、領域ごとの目標になる「ねらい」と、大まかな方策を示す「内容」が、教育と保育を一体的にとらえる観点から、『教育及び保育に関する「ねらい」及び「内容』』として設定されています。しかし、詳細な取組内容や方法については、各園の創意工夫に委ねられています。

満3歳以上の教育及び保育（以下 教育）に関する5領域と「ねらい」は次の通りです。

領 域	教育及び保育のねらい ※各領域の目標や指標とする事柄
健 康	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を養う
人間関係	他の人々と親しみ、支え合って生活するために自立心を育て、人と関わる力を養う
環 境	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う
言 葉	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
表 現	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

上記の教育の「ねらい」から分かるように、認定こども園の教育では、体を動かし頑張る心、優しい気持ち、興味や関心、探求心、コミュニケーション能力など、心情面を育てることが求められています。これらは「非認知能力」と言われるもので、教えられて身に付くものではありません。幼児教育では、「非認知能力」、言い換えれば心情や意欲の育成が重要視されています。このことと、教育の具体的な推進例については、次号でお知らせします。

## 各園での「こども達の様子」をちょっと紹介しましょう。

### ☆☆夕陽ヶ丘認定こども園☆☆



#### ☆よまつり☆

7月7日（土）は、よまつりでした。あいにくの雨でテントと室内での開催でしたが、お父さやお母さんと夜店を回り楽しい時間を過ごしましたよ～！

### ☆☆光西認定こども園☆☆



ひまわり組の一泊キャンプ、今年は宇宙人のチョースケに会うことが、子ども達の大きな目標です。当日はお天気に恵まれ、絶好のキャンプ日和となりました。もちろん夜の冒険の最後にはチョースケとの対面も果たし、大満足の一泊キャンプとなりました。

### ☆☆みなみ認定こども園☆☆



【園外保育】気温が低く、予定していた香りやんせ公園での水あそびが出来ず、この日は、4・5歳児クラスで北見消防本部に行き、施設見学と消防車、救急車の試乗体験をさせてもらいました。